

日	月	火	水	木	金	土
手芸部・工作委員会・土いじりの会・うたいたい・としょがかり ***どろっぴ利用者の自主活動です*** 利用者の皆さんが主体となって活動しています。 どなたでも気軽にご参加ください。 (時間帯はカレンダー内でご確認ください)				1 休	2 休	3 休
4 休	5 休	6 ひろばスタート	7 土いじりの会 10:00~12:00 ♥母乳相談	8 ★1歳6か月児健診	9 工作委員会 10:30~12:00 ●4か月児健診	10
11 休	12 休 成人の日	13 としょがかり 10:30~12:00 ◆3歳児健診	14 パン ♥母乳相談	15 手芸部 10:00~12:00 区との定例会	16 ココめ〜る編集会議 15:00~16:30	17
18 休	19 休	20 ◆3歳児健診	21 パン	22 ♥母乳相談 ★1歳6か月児健診	23 ●4か月児健診	24
25 休	26 休	27 ◆3歳児健診	28 うたいたい 13:30~14:30 ♥母乳相談	29 ★1歳6か月児健診	30 手芸部 10:00~12:00 ●4か月児健診	31

あっと
at どろっぴ
1 jan
vol. 101
発行日2015.1.1

あけましておめでとうございます
2015
子どもに冷たい社会への「挑戦!？」

昨年は子どもを巡る事件・事故がとても多かった気がします。またこの春から子ども子育て新制度がスタートしていきます。悲しい事件に新制度がどう寄り添っていくか、子育てしやすい社会づくりにどう貢献していくのか、一市民としても、制度に基づき実践する立場としても、身をを引き締めて見つめ、この1年、利用者である親子を真ん中に、支援に携わる多くの方々や、地域の方々と取り組んでいきたいと思っています。

先日、高橋恵子先生(聖心女子大名誉教授)のお話を伺う機会がありました。見知らぬ人とも繋がるには「社会認識のリテラシー(解釈・理解力)」が不足しているそうです。日本は身近な人への関心や愛着は著しくあるけれど、それ以外の人・モノに関心を寄せない傾向が高いというデータがあり、そのことが貧困率の高さをもたらし、犯罪や子育てへの理解不足に繋がるといふ検証・分析をされています。

「関心を持つための社会認識」がなぜ難しいか、というと「社会の仕組みについて直接体験する機会が限られていること」「社会の仕組みや規則は人工物であり、実行しているのは人間であるが、親しい人間関係とは異なるルールで動いていること」もリテラシーが

進まない難しさと言われました。見知らぬ人と繋がるためには「他人事ではないという認識、社会参加による学習の必要性」が掲げられています。社会参加による学習とは「日々の仕事・活動・生活の中で実際に使いながら学ぶということ。自発的な集まり、同じ目的を持つ実践集団、多種多様な仲間との相互交渉、観察や模倣によつての活動である」ことを示唆されました。子育て支援は見知らぬ人と繋がることに取り組むことであり、実は「子どもに冷たい社会に挑戦していくこと」とも結ばれました。「挑戦」という定義付けに改めてそのハードルが高いことを思い知らされた気がしました。

どろっぴや地域の居場所が、常に見知らぬ人とつながる機会となり、多様な人と関わることで、一人でも多くの人の手と目に触れながら我が子を育てていける社会づくりの一助をこの港北区で担っていきたいと思います。

旧年中お世話になったすべての方に心からの感謝と、この「挑戦」とも言える取り組みへのご理解とご支援を、この場を借りてお伝えしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(どろっぴ施設長 原美紀)

- 年末年始。なにか困った時には以下に電話してみてください
- 急病のときは 横浜市救急医療情報・相談ダイヤル ☎#7499 一部回線からは☎227-7499へ 救急医療情報センター(24時間年中無休) ☎201-1199
 - たばこや家庭用化学製品の誤飲による相談 神奈川県医師会中毒情報相談室 ☎262-4199
 - 休日救急 港北区休日急患診療所 小児科・内科(菊名4-4-22) ☎433-2311 (12/30~1/3 10:00~16:00)
 - 相談 よこはま子ども虐待ホットライン(24時間) ☎0120-805-240

※福祉保健センターでの健診日は混雑が予想されます。
※当日の予約制プログラム時間内は、予約された方を優先させていただきます。ご了承ください。

- 港北区福祉保健センターで行う健診
- 4か月児健診.....(受付) 8:45~9:45
 - ★1歳6か月児健診... (受付) 12:45~13:30
 - ◆3歳児健診.....(受付) 12:45~13:30
 - ♥母乳相談.....電話でご予約ください。
- 健診・母乳相談についての問合せは...
港北区福祉保健センター子ども家庭支援課
045-540-2340

- プログラム
- ふたごちゃん・みつごちゃんの会 14日(水) 10:00~13:00
多胎児ならではのおしゃべりをしながら過ごしましょう。お昼も一緒に♪
 - 異国交流ランチミーティング 20日(火) 12:00~14:00
お昼ごはんを食べながら異国交流! 食屋を持って遊びに来てね。
 - BOSAIくらぶ 23日(金) 10:30~12:00
これまでの活動を振り返りつつ、今後の話をしましょう。
 - あっとどろっぴ外国語版カレンダー作り 23日(金) 13:00~15:00
広報誌「あっとどろっぴ」の英語版のカレンダーづくりをします。
 - あっとどろっぴ折り紙 24日(土) 14:30頃~(予定)
ひろばで広報誌の二つ折りの作業をお願いします。
 - ほっとサロン@よこはま(要予約) 27日(火) 13:30~15:30
日頃話せない気持ちを、安心な場で話してみませんか? 東北に縁のある方も、お待ちしております。
 - 親子ボランティア企画ママカフェお茶あそび 30日(金) 14:00頃~
ママのためのティータイム。今月のスイーツはなあんた?

- どろっぴの相談日
個別相談の予約ができます。
- 9日(金) 10:00~12:00 大豆生田 千夏
 - 15日(木) 9:30~12:30 権田 紋子
 - 20日(火) 10:00~12:00 大豆生田 千夏
 - 22日(木) 9:30~12:30 早野 洋美
 - 24日(土) 10:00~12:00 藤井 和枝
 - 31日(土) 10:00~12:00 大豆生田 千夏

- 大倉山近辺の公園遊び
年明けも外遊び! 寒くたって、外遊び! みんなで遊べば 寒くないぞ!?
(雨天の場合は中止)
- 大倉山プレイパーク(太尾公園) 9日(金) 10:30~16:00
 - おひさまたんけんたい(太尾町第二公園) 20日(火) 10:30~11:30
- ツチノコネット おひさまたんけんたい で検索

- どろっぴパパの集い 17日(土) 13:30~15:00
好きな食べ物のこと、お正月の過ごし方など、楽しくおしゃべりしながら、パパならではの子育てについて情報交換しましょう。
- くるみさろん(要予約) 22日(木) 10:30~12:00
母乳やミルクのことなど気になっていることを、助産師、先輩ママ、みんなで話してみませんか? 1/15(木) 10:00~予約開始
- 「地域活動支援センターいろえんぴつ」のパン販売 14日(水)・21日(水)・28日(水) 12:00~12:30
売り切れ次第終了です。

港北区地域子育て支援拠点 「どろっぴ」

【住所】〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3
【TEL】045-540-7420 【FAX】045-540-7421
【URL】http://www.kohoku-drop.com
【開館時間】火曜日~土曜日 9:30~16:00
【休館日】日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
【利用料・登録料】無料

横浜子育てサポートシステム港北支部事務局
【TEL】045-547-6422(直通) 【FAX】045-540-7421
【受付時間】月曜日~土曜日 9:00~17:00

【アクセス】東急東横線大倉山駅徒歩10分
市バス41系統「観音前」下車
(各駅停車のみ停車。大倉山駅改札を出て右手、エルム通り商店街をお進みください。駐車場はございません。)

【どろっぴ休館日のお知らせ】 12/26(金)~1/5(月)は年末年始特別休館日のためお休みとなります。



港北区の第一子の赤ちゃんとおかあさんへ ～はじめの一步 赤ちゃんをつくる私の家族～



お子さんのお誕生おめでとうございます！自分のお腹にいた赤ちゃんとのご対面はいかがでしたか？そして子育てで忙しくなった、ご自身の産後の体調はいかがですか？

スタートしたばかりの子育てを応援するために、どろっぷで連続講座を開催します。皆さんがゆったりできる場を用意して待っています。

- 【日時】 2月18日・25日、3月4日・11日全て水曜日 時間は10:00～12:00 ※原則4回連続参加
- 【対象】 平成26年10～12月が誕生月の第一子赤ちゃんのいる港北区にお住まいの親子
- 【定員】 先着15組(要予約) 【場所】 どろっぷ2階研修室
- 【申込受付期間】 1月28日(水)～2月10日(火) どろっぷ受付もしくはFAXで(要申込用紙提出)
- 【講座担当】 どろっぷ相談員 大豆生田千夏・早野洋美

B O S A I / レポート

「あの街に桜が咲けば」上映会 (共催事業)

BOSA I くらぶ企画 非常食持ち寄り試食会

1月30日(土)高田地域ケアプラザにて陸前高田ドキュメンタリー映画「あの街に桜が咲けば」上映会が開催され、68名が参加しました。映画上映後には小川光一監督の講演ほか、どろっぷ「ほっとサロン@よこはま」の取り組み、福島県県外避難者コーディネーターからは福島県の現状について紹介、風化されがちな「東日本大震災」の現在について考える場ともなりました。

陸前高田市では地元の方が中心となり、NPO法人桜ライン311を立ち上げ、津波到達ラインに桜を植えています。「桜のライン」で大津波がきたことを後世に伝えていくという取り組みをされている背景には「家族・友人をなくすという、こんな悔しい思いをもう誰にもしてほしくない」という強い思いがあるからです。辛いことではあるけれど、前を向いて、桜に「未来への希望」を託すという作業をされている方々の姿がこの映画に描かれています。日本各地で自主上映されてクチコミでも広まり、今回はなんと100回上映、1万人動員達成という記念すべき上映会ともなりました。

震災や被災地のことを「自分のこと」として置き換えて、防災・減災への意識を高めたり、桜ライン311をはじめ、東北で活動されている方々や団体を知る機会になることを願っています。

備蓄はしていてもなかなか食べる機会のない「非常食」。だったらみんなで一緒に食べてみようよ～と、12月12日(金)大倉山プレイパーク(ツチノコネット主催)で試食会を行いました。アルファ米(水やお湯で作れる。いろいろな味あり)、各種缶詰、一口羊羹、温めないで食べられるカレー、乾パン、食べる小魚、おさかなソーセージ、レトルト食品、ビスコ、レスキューウォーターなどたくさんの「我が家の非常食」が集まりました。「非常食」というと専用のものを想像しがちですが、こんなにもバラエティーに富んでいるとは！みんな、我が子の好きなものや、アレルギーのことを考えて、いろいろと準備をしているんですね。寒い一日でしたが「私たちなりの防災」について考える良い機会となりました。

～参加者からの感想～

甘いものは疲れがとれて
腹持ちもよい

アルファ米は
いろいろな味があって
どれも美味しかった

白飯はカレーにのせたり
いろいろ使える！

アルファ米はお湯で作った方が
美味しかった

試食ついでに防災の話もできてよかった。
備えは大切！！

パンの缶詰は、ふわふわでとても美味。
ふだんでも食べたいくらい

どんなものを準備したらいいのかわからないので参考になった

ビスコやお菓子は
子どもが大好き！

缶詰あんこの甘さに
ホッとした。
白飯にかけると
おはき気分！

ツナ缶など
家にあるものが
便利で美味しい



●さあ、年明けも、地域ではイベントがいっぱい！！●

- ★場所や時間等詳細は、どろっぷに個別のチラシがありますので、スタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。
- ★「問合せ」と記載がないものはどろっぷまでお問い合わせ下さい。(TEL:045-540-7420)
- ★特に記載がないものに関しては「雨天決行」となります。

太尾宮前地域まちづくり運営協議会主催 おもちつき

太尾宮前地域まちづくり運営協議会メンバーで「おもちつき」を行います。おもちをつけばお正月気分も盛り上がること間違いなし！搦手も大募集しています。

- 日時：1月10日(土)10:00～売り切れ終了。
- 会場：ライフ大倉山店 店頭にて
- 内容：1パック3種類入り150円 一人2パックまで

おも城チャッチャひろば

木のおもちゃで「親子」いっしょにあそびましょう。

- 日時：1月17日(土)10:30～11:30
- 会場：城郷小机地域ケアプラザ多目的ホール
- 対象：城郷地区(鳥山・岸根・小机町及びその周辺地区)在住の乳児(目安：0歳～3歳)とその保護者
- 定員：15組(予約制) ●参加費：無料
- 持ち物：汗ふき用タオル、バスタオル(おくるみ用) 赤ちゃん用の水分補給用飲み物、動きやすい服装
- 講師：鈴木きみ代さん(おもちゃコンサルタント)
- 申込先・問合せ：城郷小机地域ケアプラザ地域活動交流(電話もしくは窓口へ) TEL:045-478-1133

♡ありがとうございます♡

「子ども達のために何か役立て下さいー地域のー老人よりー」。そんなメモとともに5万円の寄付が届けられたのは2年前のちょうど今ごろでした。どなたからなんだろう、と嬉しいやら驚きやらで、みんなで使い道を考えておもちゃ(ルーピング)を購入。昨年はご家族が寄付を届けて下さり、庭のベンチを買わせていただきました。

そして2014年のある日、ご本人がふらっとどろっぷに立ち寄り、また5万円の寄付を届けて下さいました。その日はちょうどスタッフもいたので直接お会いすることができました。ご本人は身分を明かさず「地域のー老人」としておられたのかもしれませんが、スタッフとしては数年越しのお礼の気持ちをお伝えすることができました。「もう年だけど、頑張って10年は続けます」と力強くおっしゃって下さったAさん。その温かいお言葉に「この地域で育っていく子ども達のことを、一緒に見守って下さる方がいるんだなあ」と、思わずし～んとこみあげてくるものがありました。

Aさん、本当にありがとうございます。10年と言わずいつまでもお元気で、子どもたちを、子育て中の親子を、応援して下さい。大切なお気持ちの使い道はみんなで考えています。決まり次第「あっとどろっぷ」等で報告させていただきます。心からの「ありがとう」を送ります。

働くくるま好きの子どもに大人気！！ 港北区消防出初式

消防車両の行進や消防団などによる一斉放水、車両展示(12:45～13:15)をします。

- 日時：1月10日(土)11:00～12:30
- 会場：日産スタジアム駐車場(小机町3300) ※荒天時は式典のみ11:00～11:45、日産スタジアム総合競技場会議室
- 問い合わせ：港北消防署 TEL:045-546-0119

災害ボランティアセミナー ～災害ボランティアセンターと地域との連携～

昨年同セミナーで宮城県七ヶ浜町社会福祉協議会職員を講師にお招きして、ボランティアセンターを立ち上げや運営課題等を伺いました。今年は実際に七ヶ浜でボランティアをした方から実際のボランティア活動を通して見えてきた問題点など事例を通して伺うほか、避難所運営に関するグループワークを行います。

- 日時：2月8日(日)10:00～15:00
- 講師：松永鎌矢氏(NPO法人レスキューストックヤード) 宇田川規夫氏(国際救急法研究所)
- 会場：港北区福祉活動拠点多目的研修室(社会福祉協議会3階)
- 参加費：500円(資料・保険・昼食代)
- 持ち物：筆記用具 ●定員：50名
- 申込締切：1月31日(土)まで 応募者多数の場合は抽選
- その他：手話通訳付き・保育あり(先着順)
- 申込先・問合せ：港北区社会福祉協議会 TEL:045-547-2324

家庭でも職場でも話せない子育てのコト パパ同士で話してみませんか？

子育てパパの井戸端カフェ パパトーク

「家事分担やリフレッシュはどうしてる?」「子育てと仕事の両立どうしてる?」普段職場や友達に言いたいけどなかなか言えない、そんなパパ達の参加をお待ちしています。ウチの子自慢や夫婦のお悩み相談何でもOK!近所にパパの知り合いが欲しい!という方も大歓迎!どろっぷから自主独立した「P35」(パパさんGO)のパパ達による企画で、港北区地域のチカラ応援事業の助成金で運営しています。

- 日時：2月15日(日)10:00～12:00
- 場所：大豆戸地域ケアプラザ(大豆戸町316-1)
- 対象：未就学の子がいる父親(プレパパもOK!)
- 定員：20名(要事前予約) ●参加費：無料
- 主催：P35(パパさんGO)
- 申込先：どろっぷ(受付もしくは電話にて)

子育てサポートシステム説明会(要予約) 子サポ専用電話045-547-6422

入会説明会の予約方法

説明会開催日の1か月前から予約を受付しています。1か月前が休日の場合は、翌業務日が予約受付開始日となりますのでご注意ください。

- (例) 2/5(木)説明会→1/5(月)予約
- 2/12(木)説明会→1/12は祝日なので1/13(火)予約

説明会日程(定員:7名)

2月	3月
5日(木)14:00～15:00	5日(木)14:00～15:00
12日(木)14:00～15:00	14日(土)14:00～15:00
21日(土)10:30～11:30	18日(水)10:30～11:30
24日(火)10:30～11:30	24日(火)10:30～11:30



子サポコーディネーターより
～おためし保育でママもリフレッシュ～
2月10日(火)どろっぷで提供・両方会員が2時間(午前か午後)、利用会員のお子さんを1対1で預かります。子どもを預けてみたいけど・・・人見知りしないかな?利用会員になったけれど、一歩が踏み出しにくい方、ぜひこの「おためし保育」をご利用下さい。受付は1月10日(土)からです。

「バーバパパのすいしゃごや」
作/チゾン、テイラー 訳/やましたはるお
出版社/講談社

変幻自在のバーバパパファミリーが、動物や道具に化けて小麦粉作りに大忙し!でも子供たちが遊んでしまっで・・・粉をひく水車がこわれちゃった!でも大丈夫、みんなで水車に変身して、無事に粉を引くことができました。私も小さい頃によく読んだ、バーバパパシリーズ。懐かしくて楽しい絵本です。(としよがかりKさん)

どろっぷの風景

AちゃんとBちゃんは2歳の女の子。仲良く遊ぶ時もあれば、思いがぶつかり合う時だってあります。Aちゃんはこのおもちゃでもっと遊びたい、Bちゃんだって自分の番は譲れない。さあ、おもちゃの引っぱり合いのはじまりです!ふたりとも大声を出し、本気で力を込めて、目にはいっぱい涙…。そのあまりに真剣な姿には、全身全霊で「今」を生きている子どもらしさを感じて、じーんとしてしまいました。そうこうする内にヒートアップ!ふたりの愛らしい必死さ、思わず「わー、わたしと一緒に遊びたい!」と言うと、しばし固まったふたりは、そっとおもちゃを私に貸してくれました。さっきまでの剣幕はどこへやら、今は遊びに後から入った私に優しくおもちゃを回してくれます。子どもには子ども都合があるよね、ケンカを止めて申し訳なかったけど、ふたりの優しさに触れられ、心が温かくなりました。また遊びに入れてね～!

(スタッフ下里)